

油断大敵！ IH クッキングヒーターによる火災の可能性

IHクッキングヒーターは、一般的に炎が出ないためガスコンロに比べ火災の危険が少ないと思われています。しかし使用方法を間違えれば火災が発生する危険性が高まりますので安全に使用しましょう。

IH クッキングヒーターの火災を防ぐポイント

- ① 加熱中は絶対にその場から離れない
- ② 鍋底が変形した鍋や IH 対応以外の調理器具等は使用しない
- ③ 揚げ物は適量の油で行う
※油火災が発生してしまった場合、水をかけると、炎が急に拡大し、油が飛び散り、大変危険です。いざという時のために、住宅用消火器を備えましょう。
- ④ 使用後は必ず電源を切る

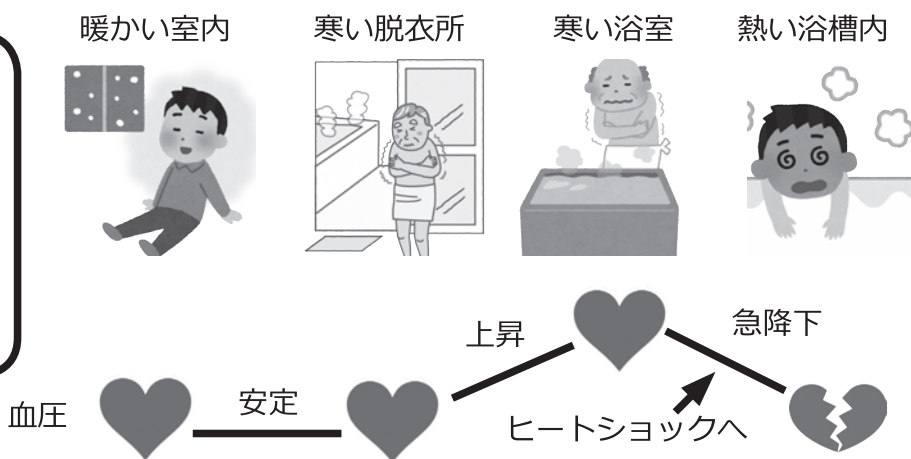


「ヒートショック」に注意してください

冬の時期に増えている死亡事故として、入浴中の死亡事故が挙げられます。全国で年間約 19,000 人と言われ、原因の多くはヒートショックの可能性にあります。安全に入浴するため以下の項目に注意してください。

ヒートショックとは

急激な温度変化により血圧が上下に変動し心臓や脳に負担をかけ、心筋梗塞や脳卒中などを引き起こすことです。(10℃以上の温度差がある場所は危険とされています。)



予防ポイント

- ・ 飲酒、食後の入浴を控える・家族にひと声かけてから入浴・浴槽から急に立ち上がらない
- ・ お湯の温度は 41℃以下にして長湯はしない・浴室や脱衣所を温めておく

住宅用火災警報器は 10 年を目安に点検・交換しましょう。

沼田町
防火標語

『声かけよう みんなで確認 防火の輪』

